

10. 大阪府 大阪市立図書館

大阪市立図書館サービス充実支援事業（平成20年度地域の図書館サービス充実支援事業）

（1）事業の趣旨・概要

大阪市立図書館は、平成19年度から「いつでも・どこでも・だれでもが課題解決に必要な情報にアクセス可能な、創造都市の知識・情報基盤」となるような未来志向の「知識創造型図書館」を目指し、商用データベースの提供などレファレンス機能の高度化、子どもの読書活動への支援の強化等を実施している。今後これらの施策効果を高めるため、市や地域の関連機関・施設や団体、学校等との連携を強化し、市民との連携や協働を拡充することが重要である。これらのことを踏まえ、ビジネス支援施設やボランティアセンター、学校・園等との連携、読書支援活動ボランティアとの協働を深めるための方策、図書館機能のあり方を調査研究し、地域のひとづくり、まちづくりに貢献する図書館機能を高めることを目指す。

※委託先・図書館の概要（平成20年3月末現在）

委託先	自治体・機関名	大阪市立中央図書館
	所在地	〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江4-3-2
	連絡先	TEL 06-6539-3300
		FAX 06-6539-3335
URL http://www.oml.city.osaka.jp/		
図書館の概要（平成20年3月末現在）	職員数	81人（うち司書64人） 非常勤嘱託 30人
	開館時間	月～木 9:15～20:30 土・日・祝 9:15～17:30
	年間開館日数	290日
	蔵書数	（自動車文庫を除く図書のみ） 1,650,923冊
	利用登録者数	170,522人
	年間利用者数	（貸出利用者） 806,196人
	年間貸出冊数	2,691,597人
	運営状況	<p>大阪市立図書館は、調査相談機能の高度化や子どもの読書活動の推進等、知識創造型図書館を目指して改革を進めている。</p> <p>中央図書館では、貸出・返却・書庫出納などのカウンター業務、総合案内を外部へ業務委託している。閲覧を担当する職員（司書）は、主に図書館サービスの企画・連絡調整、資料収集・選書、レファレンスサービス、事業の企画・運営を担当している。</p> <p>23の地域図書館では、平成21年度に全地域図書館のカウンター業務を外部委託し、各館職員（司書）2名体制になる。職員（司書）は図書館サービスの企画・連絡調整、レファレンス、選書、ボランティアや地域施設との連絡調整等を担当する。</p>

※地域の現況・特色

大阪市は、近畿地方および西日本の行政・産業・文化・交通の中心都市であり、市域を中心として、大阪都市圏および京阪神大都市圏が形成されている。

市内には24の行政区があり、大阪市立図書館は、西区に中央図書館、他の23区に地域図書館23館が配置されている。中央図書館は平成8年7月に建て替えにより新館が開館、地上5階（一部6階）、地下6階、延床面積34,532㎡という地方自治体では最大級の図書館となった。また、わが国最大規模の図書館情報ネットワークシステムの中核としての役割を果たしている。

面積：222.30km² 人口：265万3千人

(2) 事業の実施体制

事業実施にあたっては、「大阪市立図書館サービス充実支援事業実行委員会」を組織した。

<委員構成>

市社会福祉協議会副主幹、大阪産業創造館プランナー、市小学校教育研究会学校図書館部教員、市教育委員会指導部初等教育担当、市立中央図書館地域サービス担当課長、市立中央図書館利用サービス担当課長代理、市立中央図書館担当係長 計7名

<主な役割>

事業全般に関する検討

(3) 事業体系

実施した事業は下記の3つである。

① ビジネス支援サービスの 拡充	i 「情報検索講座」の開催 ii 「図書館ビジネス講座“元気塾”」の開催 iii 「図書館のデータベースを使ってみよう！」の開催
② 学校との連携サービスの 拡充	i 大阪市小学校教育研究会学校図書館部との連携による小学校調べ学習用ブックリストの作成
③ ボランティアとの協働の あり方研究	i 研究の背景としての読書環境整備事業 ii 地域の読書環境整備事業で活動するボランティアとの交流会の実施 iii 各区「子どもの読書活動推進連絡会」の開催 iv 「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の開催

(4) 当事業に取り組んだ背景・経緯

知識創造型図書館改革により、カウンター業務を中心とした定型業務を外部委託し、職員（司書）は専門性を生かしてサービス事業の企画や高度なレファレンス業務に従事している。図書館機能の拡充を目指す改革の効果を高め、地域づくりに役立つ新たな図書館サービスを広く市民へ周知することが課題であり、本委託事業では、特に市民や地域からの要望が強い、ビジネス支援、子どもの読書活動推進、ボランティア活動への支援とネットワーク化等、改革の柱となる施策に重点を置いて取り組んだ。

中央図書館では、平成8年のリニューアル以前からビジネスでの利用は相当数あり、新館開館時にビジネス書コーナーを設置、平成18年にはビジネス調査コーナーも設置した。市内のビジネス関連の施設では、大阪産業創造館（起業支援のための施設）があるが、そこには起業のための基礎データ等の資料がなく、市立図書館との連携が望まれていた。また、大阪商工会議所内にビジネス資料を多く蔵書していた図書館があったが、その図書館が閉鎖になったこともあり、市立図書館のビジネス支援に市民の期待が高まっていた。

大阪市では平成18年3月に「大阪市子ども読書活動推進計画」を策定し、絵本セットの配本とボランティアを派遣する読書環境整備事業の拡充、学校との連携等を推進している。その中で、小中学校の調べ学習の支援を積極的に行っているが、学校数が小学校だけでも297校あり、各区にある24の地域図書館だけでは対応しきれない状況であった。そこで、調べ学習等が楽しくスムーズにできるように子ども向けのブックリストを作成し、学校教育や学校図書館で役立ててもらおうことを考えた。

さらに、市内の図書館、学校、保育所・幼稚園、高齢者施設等において活動しているボランティアが2000人を超えており、そのボランティアの人たちやグループとの協働のあり方を考える必要があった。



閲覧室内の検索用端末
「多機能 OMLIS (オムリス)」



ビジネス調査コーナー

(5) 各事業の内容と現在までの取り組み状況

①ビジネス支援サービスの拡充

大阪産業創造館等との連携によるビジネス支援セミナーの開催や、商用データベースの活用講座の開催等、ビジネス支援サービスの拡充、コミュニティビジネスの創出推進等、地域コミュニティの活性化につながるビジネス支援サービスのあり方を調査研究した。

広報：区広報誌や新聞への掲載依頼、図書館や生涯学習関連施設でのチラシ配布など

i 「情報検索講座」の開催

ア. 情報検索講座入門編「はじめての蔵書検索」

日時：平成20年10月4日（土）10:30～11:30

対象：一般市民（参加者18名）

講師：中央図書館職員

内容：市立図書館の蔵書を検索できる多機能オムリスを使うときのコツや画面の見方をスクリーンの画面を使って案内した。

イ. 情報検索講座応用編「J D r e a m II を使ってみよう」

日時：平成20年10月4日（土）14:00～16:00

対象：パソコンで文字入力可能な市民（参加者20名）

講師：科学技術振興機構職員

内容：日本最大級の科学技術文献情報（医療情報も含む）データベース「J D r e a m II」の使い方を1人1台のパソコンを使った実習形式で実施した。

ii 「図書館ビジネス講座“元気塾”」の開催（6回実施）

日時：平成21年1月10日～2月21日 主に土曜の14:00～16:00

対象：起業・独立を考えている人、戦略的に経営・営業に取り組みたい、モチベーションを上げて働きたいと思っている市民 各回50名（各回ごとの当日先着順受付）

内容：ビジネスに必要な情報収集、マーケティング戦略の立て方、資金調達、コミュニティビジネス入門など、多方面の専門家を招き、ビジネスに関する様々な場面でヒントになる情報を語ってもらう。

広報：区広報誌や新聞への掲載依頼、市立図書館や生涯学習関連施設、産業創造館、府立中之島図書館でのチラシ配布、市立図書館ホームページ、商工会議所等のビジネスに関連するメールマガジンなど

第1回：「ビジネスの基本は情報収集から一起業も独立も、ビジネスは情報で勝負！」
講師：有限会社プロット代表取締役（2004年にマーケティング・コンサルタント会社を起業）
参加者：106名

第2回：「図書館から始めよう！ —ビジネス情報収集術—」
講師：市立中央図書館調査相談担当司書
参加者：60名

第3回：「勝てるマーケティング戦略の立て方 —情報をにぎって現地へ出よう！—」
講師：有限会社プロット代表取締役
参加者：101名



第4回：「夢を形にするビジネスプランの作り方 —ここだけは押さえておきたいポイント—」
講師：大阪産業創造館経営相談室スタッフコンサルタント（中小企業診断士、産業カウンセラー）
参加者：110名

第5回：「公的な資金調達の方法」
講師：日本政策金融公庫大阪支店国民生活事業創業支援課長、大阪市経済局産業振興部金融担当係長
参加者：74名

第6回：「コミュニティビジネスで起業してみよう」
講師：特定非営利活動法人宝塚NPOセンター理事兼事務局長
参加者：70名

iii 「図書館のデータベースを使ってみよう！」の開催（3回実施）

内容：商用データベースを使った新聞・食や農などの情報収集を解説し、終了後、閲覧室内の検索用端末「多機能 OMLIS（オムリス）」へ案内する。

対象：各回一般市民40名（事前申込制）

広報：区広報誌や新聞への掲載依頼、図書館や生涯学習関連施設でのチラシ配布など

第1回 「新聞データベースでビジネス情報を集める」

日時：平成21年3月18日（水）10:30～12:00

講師：株式会社紀伊國屋書店担当職員

内容：ビジネスに役立つ情報が満載の新聞データベースの活用のポイントを解説する。

参加者：26名（見込み）

第2回 「食や農についての情報をさがす」

日時：平成21年3月18日（水）14:00～15:30

講師：農山漁村文化協会担当職員

内容：食文化や農業技術に関する豊富な事例の検索・閲覧することができる農山漁村文化協会が提供する「ルーラル電子図書館」の活用のポイントを解説する。

参加者：24名（見込み）

第3回 「日経テレコン21でビジネス情報を集める」

日時：平成21年3月25日（水）14:00～15:30

講師：日経メディアマーケティング担当職員

内容：日経4紙（日本経済新聞・日経産業新聞・日経流通新聞・日経金融新聞）の記事を検索・閲覧できる日経テレコン21の機能や活用のポイント、検索ワザを解説する。

参加者：28名（見込み）

【工夫のポイント】

- 「図書館ビジネス講座“元気塾”」では第1回から第3回の講座終了後、希望者を対象に講座の中で紹介されたような資料が図書館のどこに置いてあるかを実際に見学する館内ツアーを実施し、また、「図書館のデータベースを使ってみよう！」では各回終了後、閲覧室内の検索用端末「多機能 OMLIS（オムリス）」へ案内し、実際に体験してもらった。図書館を会場に開催しているからこそ可能な方法である。
- 各講座とも毎回参加者へアンケートをとり、講座に対する評価以外に、中央図書館が行っているビジネス支援サービス（調査相談サービス、商用データベース、調べ方ガイド、HPビジネス情報ページ、ビジネス書コーナー、ビジネス調査コーナー、ビジネス関連情報コーナー）の認知度を確認した。
- 各講座開催期間に合わせて、調べる技術に関する図書、講師の著書や推薦書、大阪のビジネスシーンに関する図書等を集めた図書のミニ展示を行った。



「スキルアップ調べる技術」のテーマで関連図書の展示

②学校との連携サービスの拡充

大阪市小学校教育研究会との連携により、課題学習に役立つブックリストの提供等、効果的な支援について調査研究した。

i 大阪市小学校教育研究会学校図書館部との連携による小学校調べ学習用ブックリストの作成

市立図書館では、ホームページで「子どもにすすめる本」として小学校の調べ学習でのニーズが高い分野のブックリストを提供しているが、子どもが自ら調べ学習などで本を探すために使えるリストとはなっていない。そこで教科書の単元に合わせ、低学年・高学年に分けて、子ども自身が本を手にとってみようと思えるようなリストづくりを行った。

ア. ブックリストの作成に取り組んだ背景

平成 19 年度に実施した「調べ学習支援の充実」の取り組み（調べ学習用図書の充実）により、団体貸出の冊数、図書館での調べ学習支援の件数が大幅に増加した。平成 13 年度から教員向けには「図書館活用の手引き～子どもたちが調べ学習等で市立図書館を有効に使えるように～」を作成・配布してきたが、各学校の個別要求に対応している現状には限界があり、子ども自身が直接利用できる汎用性のある支援ツールが必要であった。大人向けには調べ方ガイドを拡充してきており、子ども向けにも調べ方ガイドを兼ねる調べ学習用ブックリストの作成に取り組んだ。

<学校支援実施状況>（学校との連携）

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
資料・情報提供	団体貸出	26,677 冊	28,583 冊	30,734 冊	32,580 冊	41,263 冊
資料・情報活用の支援	図書館見学	253 件	238 件	229 件	195 件	240 件
	図書館での調べ学習等	59 件	67 件	185 件	204 件	335 件
読書普及活動への支援	おはなし会等の学校での実施	107 件	108 件	226 件	359 件	852 件
職場体験学習の受け入れ	図書館員の仕事を体験	47 件	59 件	64 件	76 件	93 件
学校図書館主任会への参加等	学校図書館主任会への参加、教員研修受け入れ	18 件	18 件	28 件	23 件	26 件

イ. ブックリストの作成

配布対象：小学校教員、小学生

<作業手順>

- 大阪市小学校教育研究会学校図書館部の教員と小学生向け調べ学習用リストの作成について会議を開催した。
- 小学校教育研究会学校図書館部から調べ学習に適した単元ごとのテーマの一覧表を提供してもらい、5つの大テーマ（「仕事・職業」「詩・ことば遊び」「植物」「食べ物・食育」「伝統行事・しきたり」）のもとに、教科書を参考にして、25の小項目を洗い出し、小項目ごとのブックリストの作成を開始した。
- 中央図書館・各地域図書館の児童サービス担当の職員全員で1人1小項目を担当し、リストに掲載する本の分類作業を行うとともに、小項目ごとの調べ方ガイドの作成に着手した。
- 「ことば遊び」の低学年向け、高学年向けのリストをサンプルとして、小学校教育研究会学校図書館部の教員と意見交換をした。



サンプルとして作成された「ことば遊び」のブックリスト

【取り組みのヒント】

- 図書館職員は子ども用「調べ方ガイド」を作成し、それを配布することで本までの道筋をつけようと考えたが、教員との意見交換で、具体的な書名を示さないと子どもが本にたどり着けないことがわかったため、まずブックリストを作成し、配布することにした。
- 24図書館で各1つずつのリスト作成に着手しているが、教科学習に沿いながら、絵本や物語も加えた楽しいリストを作成するためには、教員との意見交換を一層密に行い、キャッチフレーズやレイアウトにも工夫が必要であることがわかった。
- ※20年度は「ことば遊びの本」のリストをサンプルとして作成し、21年度に小学校で試験的に配布・検証し、その結果を参考に他のテーマのリストづくりや「調べ方ガイド」づくりに取り組むことになった。

③ボランティアとの協働のあり方研究

大阪市では、平成 12 年度から開始した地域の読書環境整備事業で読書支援活動ボランティアを養成するとともに、ブックスタート事業や小学校でのおはなし会に出向くボランティアを養成し、その活動を支援している。2000 人を超えるボランティアが地域社会で行っている主体的な活動を支援し、活動の拡充に向けた協働のあり方を考えるために、読書支援活動ボランティアとの意見交換会を実施するとともに、大阪市社会福祉協議会と連携して、ボランティア活動への支援や組織化についての調査研究を実施した。

i 研究の背景としての読書環境整備事業

地域の読書環境整備事業は、保育所・幼稚園を対象とした幼児期読書環境整備事業と高齢者福祉施設を対象とした高齢者等読書環境整備事業を 2 つの柱としている。主な事業内容は、施設への配本と、ボランティア養成講座終了生による施設に出向いての読み聞かせや本の貸出、朗読等である。現在、保育所やブックスタート会場などで読み聞かせを行っているボランティア約 1000 人、高齢者福祉施設で本の貸出や朗読等を行っているボランティア約 400 人が、各区の地域図書館を拠点にグループとなり、日常的に活動している。

ア. 幼児期読書環境整備事業（保育所・幼稚園を対象）

配本内容：対象年齢別にしたセットを施設に配本（平成 20 年度 貸出期間 2 ヶ月）

公立保育所・幼稚園—100 冊セットを年 2 回配本

私立保育所等—50 冊セットを年 1 回配本

配本施設数：平成 20 年度 公立保育所・幼稚園—177 私立保育所等—79 計 256 施設で実施

ボランティアの活動内容：絵本などの読み聞かせ

イ. 高齢者等読書環境整備事業（高齢者福祉施設を対象）

配本内容：高齢者福祉施設 28 ヶ所に 140 冊セットを月 1 回配本。絵本・写真集・大活字本・趣味の本など、施設ごとの利用者の要望に応じて選書している。

ボランティアの活動内容：

○本の貸出（ノート記入による貸出手続き）、高齢者から本のリクエストを聞く（地域図書館職員へ伝達）

○本の紹介（絵本・写真集・大活字本などを高齢者と一緒に見る）

○高齢者用の大型紙芝居の作成と上演

図書館所蔵の紙芝居は子ども対象の保育用が主のため、高齢者に喜ばれる昔話・とんち話などの大型紙芝居をボランティア自身で作成している。

○ティーズニング（高齢者と新聞を読む活動）

新聞の見出しを読み、希望があった場合その記事の内容を読みながら、みんなでその記事を話題にして話す活動。17 年度の「図書ボランティア講座」でティーズニングについての講座を実施し、それをきっかけとして高齢者施設でティーズニング活動をはじめたグループが出ている。現在は、ティーズニングについての内容を説明したパンフレットを配布している。

ティーズニングの様子



ウ. 図書ボランティア養成講座

目的：新規ボランティアの育成

参加者：市全体で約 200 名（平成 20 年度）

実施方法：第 1～4 回—中央図書館で図書ボランティアを行うにあたっての基本事項の学習

第 5 回以降—参加者が活動する区の地域図書館ごとの独自プログラム

内容：共通—ボランティア活動を始めるにあたって、絵本の楽しさ・絵本の魅力、絵本の選び方、高齢とは、朗読の仕方など

各地域図書館別—保育所や高齢者福祉施設での活動見学、読み聞かせの実習、新旧ボランティア交流会、今後の活動についてなど

【工夫のポイント】

○幼児期・高齢者の活動分野別のブロックごとの開催

19年度までは中央図書館を会場として、各区のボランティアグループの窓口になっている人1～2名が参加し、交流会を実施していたが、各区の活動紹介だけで時間を費やしていたため、20年度は全市を5ブロックに分け、ブロックごとに交流会を実施した。幼児期については「伝えたい絵本」をもち寄り、高齢者は「工夫しているプログラム」を話題のきっかけとして、活動上の課題など、各グループが直面している様々な話題が出され、内容の濃い交流会となった。

iii 各区「子どもの読書活動推進連絡会」の開催

大阪市では、20年度に市内の96小学校（継続校48校、新規校48校）を対象として「学校図書館活性化事業」（19年度までは「学校図書館支援モデル事業」）を実施している。この事業では、PTAなど学校図書館の活性化に協力するボランティアを養成するため各校で研修会を開催し、子どもがより読書に親しめるような環境整備をすることを目指している。ボランティアの登録は学校ごとで、主に学校図書館の環境整備（本の貸出・配架、本の修理）や読み聞かせなどを行っている。登録ボランティア数は、19年度の約600人から20年度には1000人超の人数になった。

この学校図書館ボランティアも含め、地域で活動しているボランティアと、学校の教員、図書館職員、関係行政職員が一堂に会し意見交換を行う場として、「子どもの読書活動推進連絡会」を開催した。

会場：各区の地域図書館

対象：各区の地域図書館を事務局とし、読書支援ボランティア、子育て支援施設職員、保健福祉センター職員、区役所生涯学習担当職員、小学校教員等

内容：区内の様々な場所で実施されている子ども読書支援活動についての情報交換

iv 「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」の開催

上記③の「子どもの読書活動推進連絡会」の全市版で、各区の代表者により、情報交換を実施する。

会場：中央図書館

日時：平成21年3月23日

対象：「区連絡会」代表者、PTA協議会、生涯学習推進員協議会の代表、学識経験者、中央図書館職員

（6）事業の成果・効果と事業実施後の取り組み

①事業の成果・効果

事業の主な成果・効果は次のとおりである。

i 「図書館ビジネス講座“元気塾”」における成果

19年度に経営者からの講演やコミュニケーション・プレゼンテーションのノウハウなどの「ビジネス支援講座」を7回開催し、1回の講座の参加者が50人前後であったため、今回も50人程度の参加を見込んでいたが、予想以上に参加が多く、毎回100人前後の参加があった。参加者の7割以上が男性で、また、30代が27.7%、40代が23.7%と、働き盛りの30代・40代の参加者が全体の約半数を占めた（アンケート回答者のみの集計）。参加者のモチベーションが高く、アンケート結果も概ね良好で、総合満足度では73%の参加者から満足（5点満点中5、4の評価）という評価があった。複数回参加者も2割程度あり、起業に関心をもち始めた人から具体的に実現を考えている人まで、幅広い層の参加を得られたのではないかと推察される。

アンケートでは、今後のビジネス支援に関わる講演会について様々な要望が寄せられており、ニーズの掘り起こしと把握に役立った。その結果を今後の企画に活かす予定である。

＜各回の年代別参加者(アンケート回答者) 数＞

(人)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計	%
10代	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
20代	5	2	3	9	3	8	30	9.3%
30代	24	11	15	15	12	12	89	27.6%
40代	14	10	16	19	8	9	76	23.6%
50代	16	10	4	10	8	10	58	18.0%
60代	9	5	10	13	3	7	47	14.6%
70代	4	4	1	0	1	0	10	3.1%
80代以上	1	0	1	2	1	1	6	1.9%
無回答	1	1	1	1	2	0	6	1.9%
回答者計	74	43	51	69	38	47	322	100.0%

＜各回の内容に満足した参加者数(5点満点中評価5と4をつけた参加者数)＞

(人)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計	%
総合満足度(評価5・4)	58	32	41	47	19	38	235	73.0%
回答者計	74	43	51	69	38	47	322	

＜各回の複数参加者数＞

(人)

	参加者数	うち複数回参加者の参加回内訳				
		第1回(1/10)	第2回(1/12)	第3回(1/17)	第4回(2/7)	第5回(2/14)
第1回(1/10)	106		-	-	-	-
第2回(1/12)	60	28	-	-	-	-
第3回(1/17)	101	26	22	-	-	-
第4回(2/7)	110	23	15	25	-	-
第5回(2/14)	74	15	15	13	22	-
第6回(2/21)	70	14	11	12	16	5

ii ブックリストの作成過程における大阪市小学校教育研究会学校図書館部との連携強化

ブックリストの作成は、予想以上に難しい作業となったが、大阪市小学校教育研究会学校図書館部とのつながりができ、様々な意見交換ができるようになった。学校図書館部の教員を中心に、ブックトークを主なテーマとした研究会が立ち上がり、図書館との連携の希望も出されている。今後も作成したリストについては意見交換を行いながら完成させていく予定である。

iii 地域の読書環境整備事業で活動するボランティアとの交流会における成果

従来、市全体で実施していたため、時間の制約で内容を深められなかった部分があったが、ブロック別の開催にしたことにより、活動内容や課題について報告がなされ、活発な意見交換をすることができた。

主な内容としては、具体的な活動内容(絵本選びやプログラム等)、施設からの要望、メンバーとの関係づくり等である。課題については、ボランティアの不足、施設等との関係、プログラムに関すること、配本資料について等が参加者共通の問題として熱心に意見交換された。

また、今回、初めて社会福祉協議会のボランティア・コーディネーターが出席したことにより、ボランティアが困っている際の施設等との調整や相談に応じる旨の意思表示や、ボランティア活動振興基金、高齢者向けの助成事業などについて情報提供があり、ボランティア活動上の課題解決につながる助言も得られた。

②事業実施後の取り組み

※平成20年度委託事業のため、省略。

(7) 課題と今後の展望

①課題

大阪市は 24 の行政区があり、区によって地域の実情も様々である。そういう中で、ボランティアが主体的な活動を展開していくためには、各区の地域図書館職員が地域の実情を踏まえてコーディネーターとしてのスキルを磨き、関連する地域施設や学校・園等とも連携しながらボランティアとの協働のあり方を模索し、関係者との交流や意見交換会を通じて得たノウハウを共有化していくことが必要である。

②今後の展望

今後は次のことに取り組んでいく予定である。

i 「ビジネス支援セミナー」の継続

図書館がもつ高度な情報提供機能と多くの市民が集まる生涯学習施設としての特性を生かしてビジネス支援サービスを推進するため、大阪産業創造館とのタイアップで実施した「ビジネス支援セミナー」を、大阪産業創造館も含め、講師派遣を実施している他機関等との連携で継続していく。

ii 子ども向け調べ方ガイドとリストのバージョンアップ

子ども向けの図書リストはホームページでは紹介しているが、子ども自身は紙媒体でないと活用しにくいとすることがあるため、20 年度に作成したペーパーベースのリストを子どもたちに配布し、その反応について教員と情報交換をしながら、使いやすいように手直ししていく。

iii 報告書をもとにしたボランティアとの意見交換

市立図書館を拠点とするボランティアの活動状況、図書館との協働についての提言等をまとめた報告書(500 部作成、各グループに 1 部配布予定)をボランティアに配布するとともに、図書館とボランティアとの対等な関係づくりについて、職員の意識形成を図っていきたい。

iv 全市のボランティアのネットワークの構築

現在、ボランティアは区ごとのネットワークを中心に活動しているため、全市のネットワーク組織がない状況である。全体の情報が各活動グループに届くようにするため、各地域で活動の中心となっているボランティアの人たちの自発的な働きかけにより、市全体でゆるやかなネットワークが構築されることを目指したい。具体的には「おはなしたのしいでえ」実行委員会のメンバーであるいくつかのボランティアグループが中心となって、自主的な取り組みが進むよう、図書館として側面的な支援や協力を行っていきたい。

<ボランティアネットワークによる取り組み実績>

○「おはなしたのしいでえ in 大阪 2008」

市内で活動する読書ボランティアグループ等の有志が集まり、実行委員会を組織し、文部科学省の「子どもゆめ基金助成事業」を受けて実施した。市立図書館は協力という形で側面支援した。

主催：「おはなしたのしいでえ in 大阪 2008」実行委員会

日時：平成20年11月15日（土）・16日（日）12:00～16:30

内容：おはなし、紙芝居、パネルシアター、ミュージックベル、大型絵本など

会場：中央図書館

「おはなしたのしいでえ in 大阪 2008」の様子

